

競技会場における映像撮影について

関東大学バレーボール連盟（以下「学連」という）は、学連の主催する試合の会場において、選手及びチームの肖像権・プライバシー及び身体的安全を保護し、最高のプレー環境を維持することを命題とすべく、以下の規定を設ける。

学連は、以下の者に限り、競技会場のフロアレベルでの写真撮影を許諾する。

なお、「フロアレベル」の定義は、会場ごとに学連が定めるものとする。

- ・マスコミ（新聞、雑誌、テレビなど）に映像を掲載する目的で撮影するカメラマン
- ・加盟校に所属する「大学スポーツ新聞」や「大学WEB」に映像を掲載する目的で撮影する大学生
- ・出場するチームが認め、当該試合より事前にチームから申請されたカメラマン（なお、当該チーム以外の試合を会場のフロアレベルで撮影することは原則できない）
- ・その他、学連が認めたカメラマン

撮影の際は、申請書に必要事項を記入の上、学連に提出し、申請番号を取得すること。

申請書は、学連HPからダウンロードし、学連にFAXするか、或いは会場受付に備え付けられた書類に記入し、その場で申請を行なう。

申請は大会ごとに行なう（申請番号は、当該大会期間中有効だが、受付での申し出は開催日ごとに行い、撮影許可証を受け取る）。

上記に該当しない者が撮影を行なう場合も、上記と同様の申請を行なうこと。ただしその場合は、フロアレベルでの撮影は認めず、観客席からの撮影のみに限定される。

撮影の際は、以下の規則を遵守すること。

撮影の際は、試合進行の妨げにならないよう、コート・選手及びボールとの距離を保つよう注意し、審判員・学連委員の指示に従うこと。

撮影機材のフロアへの持ち込みは、最小限にとどめる。また、フロア内を移動しながら撮影を行なう場合は、それらは常に携帯し、フロア内に放置しないこと。

撮影中は、受付で渡された撮影許可証を常に身に付けておくこと。

立ち入り禁止場所・土足禁止の遵守等、会場の利用規則に従って行動すること。

フラッシュを用いた撮影は禁じる。

撮影した映像をHP上等で公開する際は、事前に学連を通じ、本人及びチームに許可を得ること。

公序良俗に反する内容の撮影を行なっている（または、そう疑われる行動をとっている）際は、撮影の中断を学連より要求する。再度の注意に従わない場合は、会場から退出しなければならない。その際、入場料の返還には応じない。

すでに撮影した映像の提示を学連から求める場合がある。その中に明らかに上記の基準に反したものがある場合は、その場で映像の削除を要求する。またはフィルム（メディア）を学連で預かり、内容確認後に返却する。

撮影の際、ボール或いは選手との接触等、不慮の事故が発生した場合は、怪我に対する応急処置は行なうが、カメラの破損等、物品損害についての補償には、選手・チーム・学連のいずれも応じない。撮影機材の紛失・盗難についても同様とする。

その他、学連が不相当と判断した行為に対しては、都度学連からの指示に従う。

上記の規則に従わない者は撮影許可を取り消され、今後の大学バレーボール連盟主催試合での取材を禁止される。